

IV-3 第二性徴にとまどう子どもに寄り添いましょう

【プログラムのねらい】

- ・思春期の子どもは身体の成長に伴い、感情の揺れ動きが激しくなることを知る。
- ・思春期の子ども的心情を知り、自分の性を引きうけていく子どもを見守ることの大切さに気付く。

【プログラムの展開例】

| 時間 | 進め方 | 準備 |
|-----|---|--------------------------|
| 10分 | <p>▶ アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け（4～5人のグループに分ける） | P2「アイスブレイキング各種」参照 名札 |
| 30分 | <p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①小説を読み、晶子の気持ちを考える。 ※自分の経験を思い出して初潮を迎えた思春期の子ども的心情を理解する。 ・②晶子の気持ちを知ったとき、あなたはどうしますか。 ・③息子の汚れた下着を見つけたとき、どうしますか。 ※父親の参加が重要であることに気付く ・①②③についてグループで話し合う。 ※資料、アドバイスを読み、思春期の子ども的心情を理解する。 ※グループで、思春期の子ども的心情とそれを受けとめる親になって話し合いをする。 | ワークシート 筆記用具 資料 |
| 20分 | <p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出た意見を全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 | 振り返りシート |